

事業所における自己評価結果（公表）

別紙 3

公表：令和 6 年 4 月 吉日

事業所名 さんさんキッズ

		チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	10		療育室とは別にうんどろームもあるため、空間に余裕をもって過ごせるようにしています。
	②	職員の配置数は適切である	10		1.5 人に対して職員を 1 人配置しており、個々に丁寧な支援が出来る体制をとっています。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	10		活動に応じた部屋の分けや、職員と話し合いながら環境設定を行うようにしています。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	10		毎日の清掃に加え、定期的におもちゃの消毒をしています。
業務改善	⑤	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	8		その都度、必要に応じて話をしている。職員会議の時間をもう少しとれるように努めていきたいと考えています。
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	8		評価表を確認させてもらい、保護者の方の要望にできる限り応えられるよう努めています。
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	10		ホームページにて公開しています。
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	3	4	第三者による外部評価を現在実施していません。今後、実施を検討しています。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	4	1	有料の年間研修、WEB 研修を実施しています。今後も職員の質の向上のため、研修の機会を作りたいと思います。
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	9		個々の発達の状況、年齢など総合的に捉え、職員間でも子どもの状態像を多面的に捉えるようにしています。
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	9		子どもに応じたアセスメントツールを使用しています。
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	10		一人ひとりに応じた、支援内容を設定し個別支援計画を作成しています。
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われてい	10		支援計画を作成し、モニタリング実施後には保護者

	る			と確認した内容等含め、職員全体で情報共有を行っています。問題点や改善点なども職員とその都度話し合いをしています。
14	活動プログラムの立案をチームで行っている	8		職員個々で活動内容を設定していることもあるが、ねらい等は共有しながら取り組んでいます。
15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	10		日々、通所するお子さんの様子に合わせた活動を考えて取り組んでいます。また、季節の行事も取り組むようにしています。
16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせることで児童発達支援計画を作成している	10		子どもの状況や発達に沿った活動に取り組むようにしています。年長児については、就学を見据えた支援内容の計画作成をしています。
17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	10		朝礼で必ず申し送り事項を確認し、勤務時間が遅い職員でもわかるよう連絡ノート等を使い周知するようにしています。
18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6	1	その都度、気づいたこと等は報告や職員間で話し合いをするようにして日々の療育に繋がられるよう努めています。
19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	10		全職員で取り組んでいます。
20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	10		原則 6 か月に 1 回、必要に応じて 1～3 か月で行っています。モニタリングは担当職員が対応していますが、職員間で話しをしながら進めています。
21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	10		一番、子どもの様子を把握できているモニタリング担当職員が会議に参加しています。
22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	7		療育センターから相談をうけ通所に繋がった事例等もあります。モニタリング時に同席して頂いたり、連携をとりながら取り組んでいます。
23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている			医療的ケアが必要なお子さんが現在いらっしゃいません。
24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている			通われる際には、関係機関と連携をとりながら支援を行っていきます。
25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	4	1	モニタリングの際に、可能であれば同席してもらい情報共有をしていけるよう努めています。
26	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	5		小学校や特別支援学校との情報共有等は今のところ実施できていません。就学相談等で、情報提供の資料作成は行っています。
27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関	5	1	必要に応じて情報交換をしています。

	と連携し、助言や研修を受けている			
⑳	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	1	3	今年度は事業所を引っ越したこともあり、交流する機会がありませんでした。 今後交流等ができればと考えています。
㉑	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	3	4	定期的に参加しています。
㉒	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	10		モニタリングで子どもの状況等の話しやれんらく帳でのやりとり、また必要な場合は電話等での連絡、情報共有に努めています。
㉓	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	4	2	必要に応じて、保護者の方へ関わり方等のお話はさせてもらっています。 ペアトレ等、現在実施できていませんが、今後取り組みをしていきたいと考えている。
㉔	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	8		契約時に説明をしています。 変更があれば書面にて通知しています。
㉕	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	8		定期的に計画書を作成し、支援内容を保護者と確認した上で同意を得ています。
㉖	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	8		れんらく帳や対面、電話にて保護者とお話しをさせて頂いています。
㉗	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	1	5	保護者同士の交流が行えるような会は現在実施していませんが、見学等をして頂き子どもの成長を見る機会を作っていきたいと考えています。
㉘	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	8		対応できる体制を整えて、できる限り対応させてもらっています。
㉙	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	8		毎月、活動の様子等を掲載したおたよりを発行しています。
㉚	個人情報の取扱いに十分注意している	9		取り扱いには十分配慮しています。
㉛	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	8		職員同士で話し合い、丁寧にお伝えができるよう心がけています。
㉜	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1	5	地域の方をご招待して取り組むことは難しいですが、野外活動等で、地域の交流を図っていきたく考えています。
非常時等の対応	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	7	1	
	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	9		年に2回、火災避難消火訓練や防犯訓練を実施しています。実施した際にはおたより等でお知らせも

				しています。
④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	6		アセスメントで聞き取り、職員にも周知しています。
④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	7	1	ご家族からの聞き取りと、申し入れに対応しています。
④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	7	1	実施しています。
④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6	1	虐待防止対策の DVD や研修等取り組むようにしています。また、職員間でも声掛けが行えるような関係構築ができるよう日々努めています。
④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	4	1	子どもの状況等を見たとえで職員間で検討し、必要な場合には保護者に説明をし了承を得たとえで、個別支援計画に記載しています。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。